

社 是

ひねらんかい
(知恵を出そう、工夫しよう)

経営理念

洗練された、自己主張できる社員が、
意欲的に働き、顧客から評価され、
成長と収益をもたらし、
活気に満ち溢れているアグレッシブな会社

経営目標

Strong & Great
強く偉大な会社になる

経営方針7原則

Speed
組織としての意思決定はもちろん、お客さまへの対応やサービス提供のスピードを速めることで、ビジネスチャンスを確実にとらえると同時にお客さま満足の向上につなげています。

Stretch
当社では常に高い目標を目指し続けています。過去と同じことをしていたのではその目標に届くことはできず、絶えずイノベーションを起こし変化することで成長を遂げてきました。

Partnership
経営陣・社員の区別なく全社員が経営者意識を持って業務にあたることを説きます。

Fair & Open
当社ではやったらやった分だけ公平に評価されるという環境と、結果を社員全員にディスクロージャーするオープン経営を実現します。

Originality
経済環境に関係なく卓越した利益をあげるため、情熱を持って取り組めるものは何か、自社がNo.1になれるものは何か、それは利益を生むものか、の3点を満たすものを事業に掲げ、誰にも負けない事業を展開します。

Passion
必ずできるという意志の強さ、情熱、どんな困難にぶつかっても最後は必ず勝てるという信念を持ち続け、増収、増益も実現し続けます。

Free & Rule
強く偉大な会社になるためには、きちんとした規律と、規律の中の自由が必要です。当社では規律の中の自由を文化とします。

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告
<http://www.septeni-holdings.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-78-2031 (フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株式の売買単位 1株

証 券 コ ー ド 4293



株式会社 セプテーニ・ホールディングス
<http://www.septeni-holdings.co.jp/>

※本報告書の中の業績予想等につきましては、本報告書作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。



本誌は大豆油インキを使用しています。



S E P T E N I
C o m m u n i c a t i o n

第18期 報告書

2007年10月1日～2008年9月30日

トピックス ————— Topics
グループ会社紹介 ————— Group Introduction
セプテーニ・ホールディングスの横顔 ——— Group Profile
業績の概況 ————— Business Results

財務情報 ————— Financial Analysis
社長インタビュー ————— Top Interview
今後の成長戦略 ————— Management Plan
会社概要／株式情報 — Corporate Data / Stock Information

株式会社 セプテーニ・ホールディングス

証券コード:4293

第18期の10大Newsをクローズアップ!

当期を振り返って、セプテーニグループが取り組んできた事業活動・新サービスについてご紹介します。

FEBRUARY

リスティング広告の効果を最適化
ポートフォリオ型自動入札ツール
「SearchIgnite」取扱開始
〈セプテーニ〉

MARCH

グループ会社初のIPO
東証マザーズに上場
〈アクセルマーク〉

2008年3月18日、当社子会社のアクセルマーク(株)
[証券コード:3624]が東証マザーズに上場を果たしま



した。これにより、独自の
資金調達手段が確保され
たほか、権利獲得や
人材採用面で有利にな
るなど、さらなる成長が
期待できます。

JULY

有カメディアとの関係を強化
ヤフー(株)に対して第三者割当増資
〈セプテーニ・ホールディングス〉

2008年7月14日、日本最大のポータルサイト「Yahoo!
JAPAN」を運営するヤフー(株)を割当先とする第三者
割当増資を実施しました。これにより、当社グループと同
社との関係は一層強化され、今後さまざまな事業上のシ
ナジーが期待できます。調達資金約10億円は、M&Aや
人材育成、システム等の戦略投
資に充当し、当社グループの企業
価値向上につなげてまいります。



JULY

業容拡大と業務効率化を目指し
札幌営業所、
SEM本部宮崎オフィスを開設
〈セプテーニ〉

↑
JULY

AUGUST

日本初のオンライン・
リード・ジェネレーション広告
「AdLead」販売開始
〈セプテーニ〉



FEBRUARY

若手社会人に最大1億円の独立支援金
「商人(あきんど)輩出プロジェクト2008」開催
〈セプテーニ・アイ〉

「100人の商人計画」を加速させるため、日本初の本格的な社会人向けビジネスプランコンテストとなる「商人輩出プロジェクト2008」を開催しました。これは、従来からの社内募集に加えて、社外からも潜在起業家を募るもので、東京と上海での合計3回のセレクションを経て3名の受賞者を決定しました。その後、2008年11月には本プロジェクトを通じた初めての出資を実施しました。



APRIL

検索エンジン最適化サービスの強化へ
パワーテクノロジー(株)に出資
〈セプテーニ・ホールディングス〉

2008年4月10日、SEO(検索エンジン最適化)サービス大手のパワーテクノロジー(株)を持分法適用関連会社化しました。これによりSEO分野における当社グループの競争力は強化され、当期のSEOの売上は前期比約2倍となりました。



JULY

コマース事業(通信販売)に参入
(株)アクセスを連結子会社化
〈セプテーニ・ホールディングス〉

2008年7月18日、通信販売事業を手がける(株)アクセスを連結子会社化しました。当初は従来型の通販事業でのスタートですが、将来的には当社グループがもつインターネットマーケティングノウハウを活用しながらEコマース事業への発展を目指します。なお、2008年9月30日を会計上のみなし取得日としているため、連結業績に反映されるのは2008年10月からとなります。



AUGUST

X JAPANの音楽、動画、画像等を独占配信
オフィシャルケータイ放送局
「X JAPAN.TV」オープン
〈アクセルマーク〉

↓
SEPTEMBER

SEPTEMBER

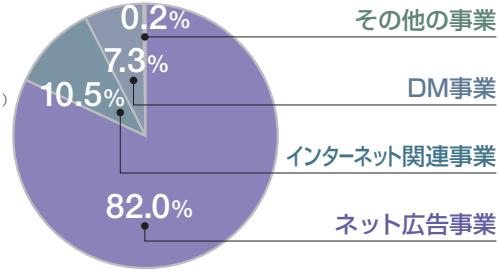
あらゆる広告取引をオンラインで
総合アドマーケットプレイス
「xmax」始動
〈セプテーニ・クロスゲート〉

グループ総合力で目指すインターネットマーケティングNo.1へ



株式会社セプテニ・ホールディングス
(上場会社)
◆ 株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等

◆ 当期のセグメント別売上構成比 (セグメント間売上を除く)



ネット広告事業



株式会社セプテニ 連結対象会社 (出資100.0%)
http://www.septeni.co.jp/
◆ インターネット広告事業
◆ インターネット上のプロモーション全般の支援

● グループの主力事業であり、国内最大級の取り扱いを誇るインターネット広告の販売を中心に、顧客企業に対してインターネットを活用したマーケティングソリューションを提供しています。

● 当期においては、市場シェアの拡大と収益性改善を図るため、モバイル広告の拡販と高付加価値分野の売上比率向上に努めました。その結果、売上高は25,330百万円(前期比21.3%増)、営業利益は1,037百万円(同48.6%増)と大幅な増収増益を達成しました。



SEPTENI X GATE

株式会社セプテニ・クロスゲート
連結対象会社 (出資95.0%)
http://www.cgate.jp/
◆ アドネットワーク、プラットフォーム事業



株式会社エイエスピー 連結対象会社 (出資60.0%)
http://www.asp.co.jp/
◆ eマーケティングソリューション事業



株式会社セプテニ・ブロードキャスティング
連結対象会社 (出資70.0%)
http://www.septeni-bc.co.jp/
◆ インターネット動画広告の企画・制作・販売



株式会社バズマーケティング 連結対象会社 (出資50.3%)
http://www.buzzmarketing.co.jp/
◆ バズマーケティング事業

インターネット関連事業



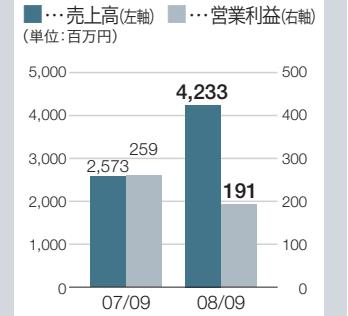
アクセルマーク株式会社
連結対象会社 (出資54.5%)
http://www.axelmark.co.jp/
◆ モバイルサービス事業

● 音楽や書籍をはじめとする各種モバイルコンテンツの配信や広告代理店向けモバイル広告販売、ASP方式のEメール配信システムの提供等を行っています。



トライコーン株式会社
連結対象会社 (出資100.0%)
http://www.tricorn.co.jp/
◆ メールマーケティング事業

● 当期においては、収益性の高いコンテンツ配信が計画比大幅未達だった一方、モバイル広告販売が想定以上に伸びたため、売上高は4,233百万円(前期比64.5%増)、営業利益は191百万円(同26.1%減)となりました。



サイテック株式会社
連結対象会社 (出資63.6%)
http://www.cytech.co.jp/
◆ システムインテグレーション事業

DM事業



株式会社セプテニ・ダイレクトマーケティング
連結対象会社 (出資100.0%)
http://www.septeni-dm.co.jp/
◆ 紙媒体の発送代行業務

● 紙のダイレクトメールの発送代行を中心にリアルでのダイレクトマーケティング支援を手がけています。

● 当期は、需要が伸び悩む厳しい事業環境のもと、売上高は2,259百万円(前期比14.3%減)、営業利益は249百万円(同17.8%減)となりました。



その他の事業



株式会社セプテニ・アイ
連結対象会社 (出資100.0%)
http://www.septeni-i.co.jp/
◆ 投資育成事業/新規事業開発

● ベンチャー企業への投資・育成、新規事業開発を手がけています。

2008年7月に子会社化



株式会社アクレス
連結対象会社 (出資100.0%)
http://www.acress.co.jp/
◆ 通信販売事業

● 一般消費者向けの通信販売事業を手がけています。
※2008年7月に子会社化しましたが、会計上は9月30日をみなし取得日としているため、当期の業績には含まれていません。

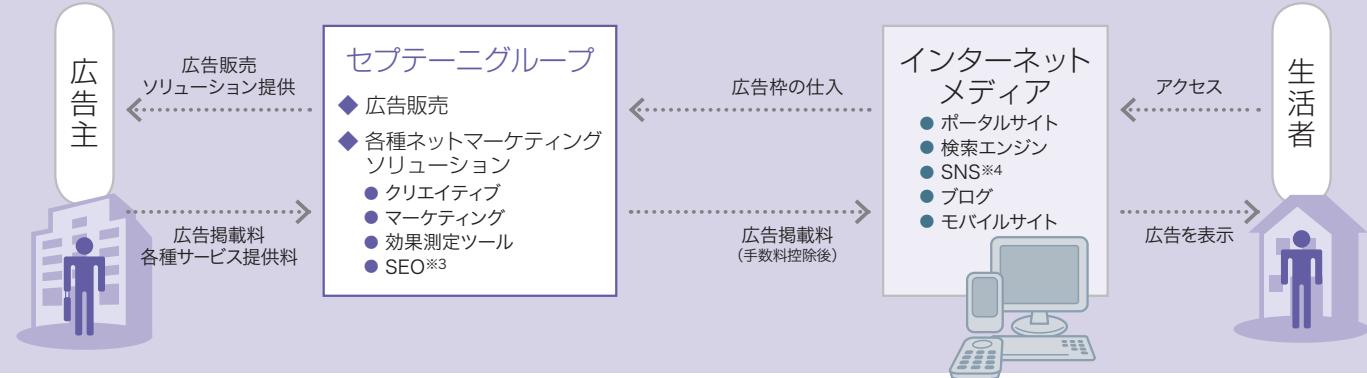
1st. Content

セプターニ・ホールディングスとはどのような会社ですか？

傘下に連結子会社12社を擁するセプターニグループの純粋持株会社です。1990年に創業、いくつかの事業の変遷を経て、2000年に現在の主力事業であるネット広告事業を開始しました。2001年にジャスダック市場に上場、2006年10月に会社分割により持株会社体制に移行するとともに、セプターニ・ホールディングスに社名を変更しました。

ネット広告事業のビジネスモデル

国内最大級の取り扱いを誇るインターネット広告の販売を中心に、広告主企業のマーケティング課題をインターネットを活用して解決するためのさまざまなサービスを展開しています。



用語集 KEY WORD

- ※1 **リスティング広告**
検索エンジンで検索されたキーワードに連動して表示されるテキスト広告。広告主はターゲットを限定した効率的な広告出稿が可能。
- ※2 **アフィリエイト広告**
商品購入や会員登録等成果に応じて広告費が発生する成果報酬型のネット広告。広告主にとって費用対効果がより高い広告を実現。
- ※3 **SEO (サーチエンジン最適化)**
検索エンジンを解析し、検索結果ページにおいて対象サイトが上位に表示されるように最適化する手法。
- ※4 **SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)**
人と人のつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWEBサイト。友人・知人のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、新たな人間関係を構築する場を提供する会員制のサービス。

2nd. Content

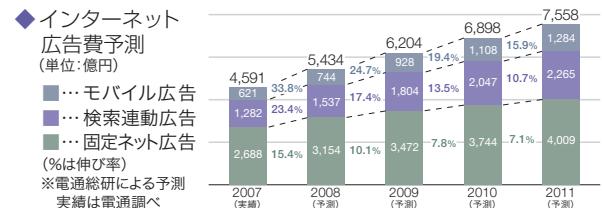
どのように収益を生み出しているのですか？

主力事業のネット広告事業では、主にインターネット上の広告枠を媒体社から仕入れて広告主企業に販売することで収益を生み出しています。また、WEBサイトの制作やSEOといった広告周辺の高付加価値分野も手がけ、総合的なネットマーケティングソリューションを提供しています。

3rd. Content

ネット広告の成長性について教えてください。

インターネットの普及に伴ってインターネット広告市場は順調に拡大し、2007年には4,591億円(媒体費)と雑誌広告費を上回る規模にまで成長しました。(電通「日本の広告費」より) 今後も他の広告手法からのシフトを中心に当面は需要拡大が見込まれ、3年後の2011年には7,500億円を超えるものと見られています。(電通総研による予測)



4th. Content

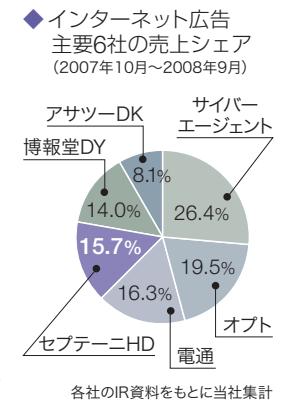
セプターニグループの強みとは何ですか？

インターネット広告代理店の最大の財産でありかつ差別化要因となるのは「人材」です。セプターニグループでは、社は「ひねらんかい」、新規事業育成システム「ひねらん課」に代表される独自の経営コンセプトやカルチャーによって、若く優秀な人材を引きつけるとともに、彼らが高いモチベーションを保ちながらさらに成長し実力を発揮することを通じて事業の競争力を高めています。また、変化の早いインターネット広告業界の中にあって、高成長が見込まれる分野にいち早くフォーカスし、先行優位性を確立することもセプターニグループの特長です。例えばモバイル広告分野では、2008年度の取扱いシェアは主要ネット広告代理店中No.1となりました。(ミック経済研究所調べ)

5th. Content

業界におけるシェアはどのくらいですか？

主要広告代理店6社*の中でのインターネット広告取扱いシェアは、2008年9月期(2007年10月～2008年9月)で15.7%と前年同期比0.5ポイントアップしました(各社のIR資料をもとに当社集計)。現在の順位は4位ですが、毎年徐々にシェアを伸ばしており、3位との差は縮まりつつあります。



*: ネット専業広告代理店3社(サイバーエージェント、オプト、セプターニHD)と主要総合代理店3社(電通、博報堂DY、アサツーDK)

当期決算のポイント

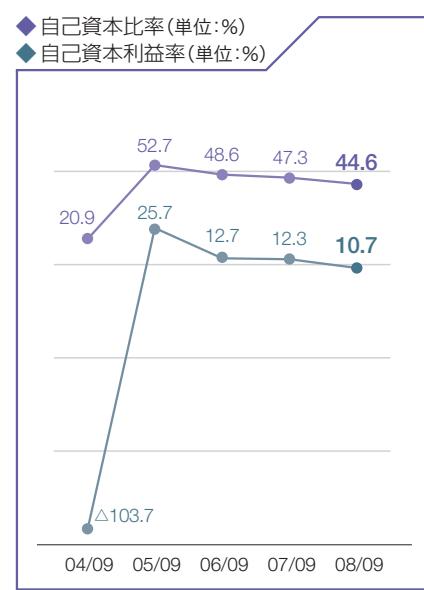
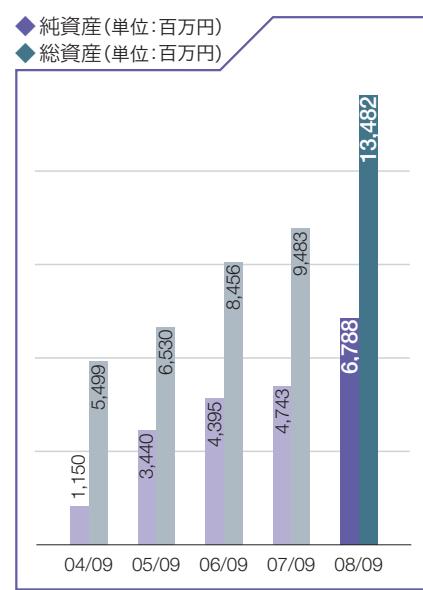
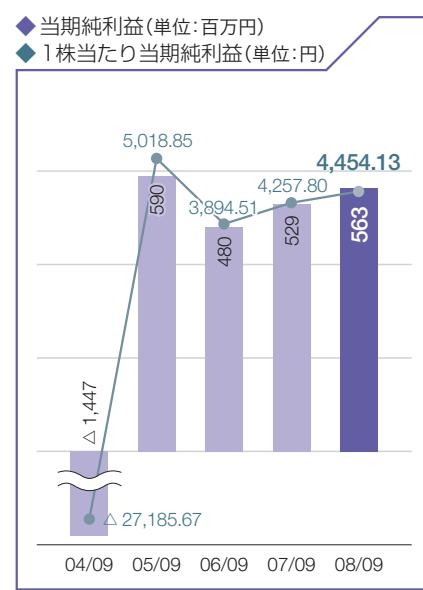
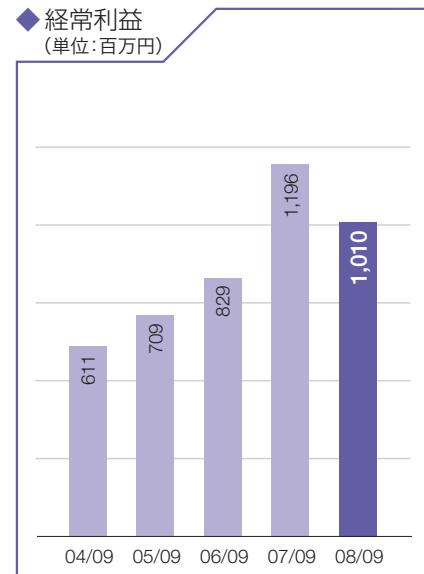
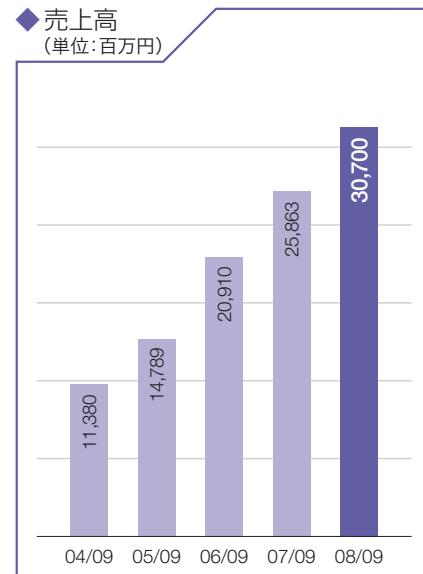
1 売上高 **307億円**、営業利益 **11.2億円**
 ともに前期比約 **19%成長**

2 **15期連続**の増収、**9期連続**の営業増益を達成

3 金融市場の混乱の影響を受け営業外収支が悪化、上場後初の経常減益に

4 業容拡大と増資により、総資産、純資産ともに
 前期末比約 **1.4倍**と大幅拡大

連結財務ハイライト



連結財務諸表のポイント

(単位:百万円)	当 期 (2007年10月1日～2008年9月30日)	前 期 (2006年10月1日～2007年9月30日)	増減率
売 上 高	30,700	25,863	18.7% ↗
営 業 利 益	1,125	946	18.9% ↗
経 常 利 益	1,010	1,196	15.6% ↘
当 期 純 利 益	563	529	6.4% ↗

POINT 1 売上高

主力のネット広告事業、インターネット関連事業ともに順調に業容を拡大し、前期比18.7%増の30,700百万円と初めて300億円の大台を突破しました。

POINT 2 営業利益

ネット広告事業の収益性改善がインターネット関連事業の不振をカバーし、前期比18.9%増の1,125百万円となりました。これにより売上高営業利益率は3.7%となり、前期の水準を維持しました。

POINT 3 経常利益

折からの金融市場混乱の影響を受け、保有金融商品の時価評価に伴う投資有価証券評価損の計上などにより営業外収支が悪化したことから、経常利益は前期比15.6%減の1,010百万円となりました。

POINT 4 当期純利益

連結子会社であるアクセルマーク(株)の株式上場に伴うものを中心に合計511百万円の特別利益を計上したものの、投資有価証券評価損や消費税等に関する税務更正などにより合計604百万円の特別損失を計上しました。その結果、当期純利益は前期比6.4%増の563百万円となりました。

(単位:百万円)	当 期 末 (2008年9月30日)	前 期 末 (2007年9月30日)	増加額
流 動 資 産	10,090	7,506	2,583
固 定 資 産	3,392	1,977	1,414
流動負債・固定負債	6,694	4,739	1,954
純 資 産	6,788	4,743	2,044
総 資 産	13,482	9,483	3,998

POINT 5 流動資産、固定資産

流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により、前期末に比べ2,583百万円増加し10,090百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券や子会社の株式取得に伴うのれんの増加等により、前期末に比べ1,414百万円増加し3,392百万円となりました。

POINT 6 流動負債・固定負債

流動負債は、買掛金や短期借入金増加等により、前期末に比べ1,919百万円増加し6,620百万円となりました。

固定負債は、前期末に比べ35百万円増加し73百万円となりました。

POINT 7 純資産

当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加に加え、第三者割当増資に伴う資本金および資本剰余金の増加や子会社への出資比率の変更による少数株主持分の増加等により、前期末に比べ2,044百万円増加し6,788百万円となりました。

詳細な財務情報は、当社ホームページにてご確認ください。

URL: <http://www.septeni-holdings.co.jp/ir>

社長が語る、これからのセプテーニ・ホールディングス

「若く優秀な人材」を原動力に
今後もさらなる
事業拡大を目指します。

セプテーニグループが置かれているビジネス
環境と課題、現在取り組んでいる経営施策、
今後の方向性などについて聞きました。

株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表取締役社長

野村 宗芳



Q1 事業を取り巻く、最近の経営環
境についてどうお考えですか。

A1 当社事業は、マクロ環境
の変動の影響を受けにく
いと考えます。

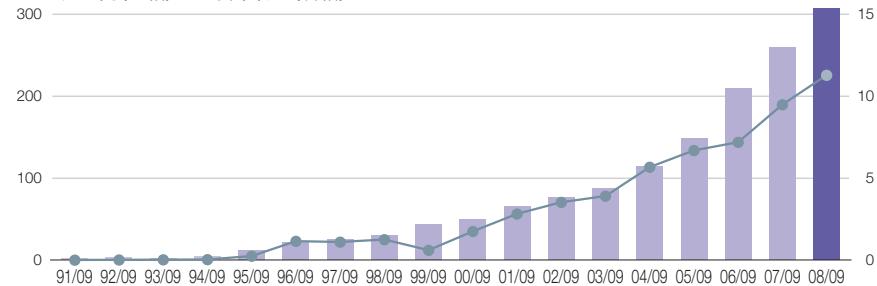
ここ数年、マクロ経済環境は先が見え
ない状態が続いていますが、当社グルー
プは、9期連続の増収増益を達成するこ
とができました。その背景には、目標を常に
高く掲げて、その達成のためにどうすれば
いいかを追求してきたこと、トップダウン
だけでなく、若い社員の力を信じてモチベ
ーションを高め、活かしていくボトムアップ
を重視してきたことなど、当社グループ独自
の企業風土があると思います。頑張りを

評価し報いるカルチャー。これが大きな
原動力です。

また、私たちの事業は、企業の見込み
客獲得をお手伝いするという、売上に直
結したセールスプロモーションが中心で
すから、当面の株安や円高などの直接的
影響は比較的受けにくいと考えています。

◆ 創業からの歩み(単位:億円)

■ 売上高(左軸) ● 営業利益(右軸)



Q2 今後力を入れたい分野、成長性
について教えてください。

A2 インターネット広告需要
は旺盛です。今後はEC
事業にも注力します。

主力事業であるインターネット広告分野
は、まだまだ伸びますし、引き続き力を入
れていきます。今後、携帯電話やパソコンを日
常のコミュニケーション手段として利用して
いる世代が、20代から30代、40代と年を追
うごとに年齢層を広げていきますから、成長
の可能性はまだ大きいと思います。同時
に、コンテンツ配信の分野でも、量ではなく
質を高めていく必要があると考えています。

一方で、見込み客獲得支援の延長線上
のひとつとして、お客様の商品の販売代行
があると考えています。中期経営計画にも盛
り込んでいるとおり、今後はそうしたECの
分野でもさまざまな提案をしていきますし、
これが私たちの成長の鍵のひとつになる
と思います。

Q3 成長企業としての株主還元の考
え方について教えてください。

A3 15%程度の還元を継続
する一方、人材育成に再
投資させていただきます。

おかげさまで順調に利益を出してきた
企業として、これを株主の皆様へ還元す
ることは当然の務めです。私たちは、上場
前から純利益の15%程度を目安として
配当性向を維持してきましたが、これは
今後も変わりません。配当額についても、
増益に合わせて毎年増やしてきましたが、
これも今後継続いたします。

一般的に、上場企業の平均の配当性
向は30%程度といわれております。です
ので、15%という配当性向は決して高く
はないかもしれませんが、配当と同じ連
結純利益の約15%相当分を人材育成の
ための教育投資に使わせていただきた
というのが私たちの基本的な考え方
です。当社グループの成長の原動力は「人」
ですので、その育成に再投資させていた
だき、さらなる事業拡大、新規事業の立
ち上げにつなげていくことが、結果的に
株主の皆様への利益にもつながるもの
と考えています。

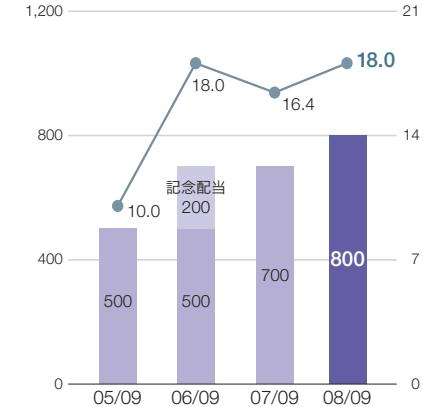
私たちは、社是「ひねらんかい」の精神
に基づき、知恵を絞って事業を創造して
いくことを常に意識しています。したがっ

て、「人」の力、「人」の質こそが最も大切
な財産であり、若い世代の提案力を活か
していくカルチャーがなければ、私たち
の成長はありません。

当社グループでは、株主総会後に、各
事業会社社長が揃って事業説明会を開
催し、さらに株主の皆様とお話しさせて
いただく懇談の場をご用意しております
が、これは、私たちの信念や企業風土を
お伝えし、ご理解いただきたいという願
いからです。株主の皆様と直接コミュニ
ケーションを図り、その中でいただくご
意見は、私たちの事業の大きな糧であ
り、この意味でも、「人」こそが私たちの成
長のキーワードとなるわけです。

そうした機会も通じて、今後とも忌憚
ないご意見を頂戴し、ご指導・ご鞭撻い
ただければ幸いです。

◆ 配当額(左軸)・連結配当性向(右軸)の推移
(単位:円) (単位:%)



Q4 最後に、株主の皆様への
メッセージをお願いします。

A4 長い目で当社の成長を
見守っていただきたいと
存じます。

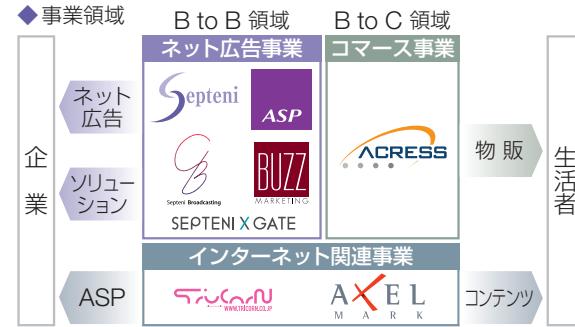
株主の皆様には、一日でもひと月でも
長く、当社の株を保有していただきた
い。当社グループのファンとして、長い目で見
守っていただくことで利益を享受して
いただきたい。それが私たちの願いです。そ
のために、私たちは利益を出し続け、成
長し続けていかなければならないと考
えています。ぜひ、当社グループの成長を支
えていただければと思います。



2009年9月期事業戦略について

通信販売を手がける(株)アクレスを子会社化したことで、B to Cの新事業領域が今期より加わりました。

ネット広告事業	<p>シェア拡大に注力</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アカウント営業体制の推進 ●有力メディアとの関係強化 ●モバイル広告への積極的投資継続 ●オペレーション強化による生産性向上 ●アドマーケットプレイスによる中小ネット広告市場の開拓
インターネット関連事業	<p>コンテンツ、テクノロジー領域の推進</p> <p>【コンテンツ領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人気アーティストサイトや動画サービス等、コンテンツ充実により差別化戦略を推進 <p>【テクノロジー領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●WEBマーケティング機能を強化、メール配信ASPからCRMツールへの発展
コマース事業	<p>基盤づくりとECへの布石</p> <ul style="list-style-type: none"> ●積極的な広告宣伝による新規顧客の獲得 ●EC部門の立ち上げ



◆業績予想

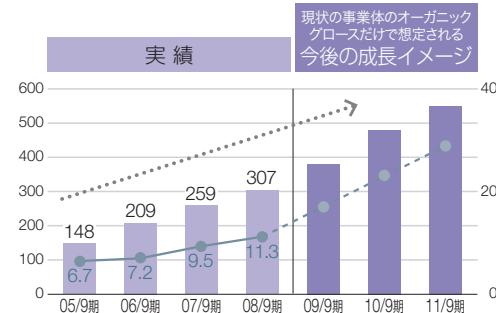
連結	2008年9月期 通期実績	2009年9月期 通期予想	予想成長率
売上高	307.0 億円	380 億円	23.8%
営業利益	11.2 億円	15 億円	33.3%
経常利益	10.1 億円	15 億円	48.5%
当期純利益	5.6 億円	8 億円	41.9%

中期経営計画(2004年10月～2011年9月)

当社グループは、インターネットマーケティングサービス領域におけるリーディングカンパニーとなることを目標とし、2004年10月より7カ年の中期経営計画を策定しております。

◆4年目までの実績と現時点での今後の見通し(単位:億円)

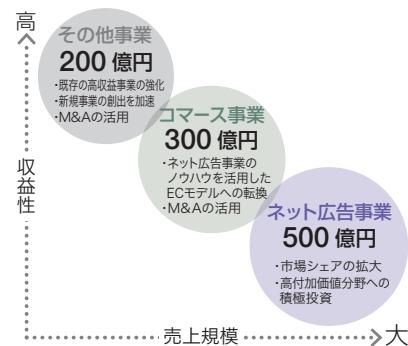
■売上高(左軸) ▲営業利益(右軸)



当初目標

- 1人当たり**1億円**の売上
- グループ営業利益率**10%**
- 商人(あきんど)**100人**輩出
- グループ売上高**1,000億円**

◆事業ポートフォリオと方向性



会社概要 (2008年9月30日現在)

商号 株式会社セプテーニ・ホールディングス (SEPTENI HOLDINGS CO., LTD)

本社所在地 東京都新宿区大京町24番地 住友外苑ビル
Tel:03-5363-7340 Fax:03-5363-7341

事業内容 株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等

設立 1990年10月

資本金 19億92百万円

連結従業員 572名(正社員) / 687名(従業員)

株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数	370,080株
発行済株式総数	134,347.80株
株主数	6,021名

大株主(上位10名) 持株数(株) 持株率(%)

1. 株式会社ピレッジセブン	20,500	15.25
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,730	13.19
3. 七村 守	16,516	12.29
4. ヤフー株式会社	7,000	5.21
5. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,694	4.23
6. エイチエスピーシー ファンド サービスズ アカウント 006ジェイエフ	3,500	2.60
7. 清水 洋	2,480	1.84
8. 株式会社ソフトクリエイト	2,260	1.68
9. みずほ信託銀行株式会社(信託口)	2,183	1.62
10. エイチエスピーシー ファンド サービスズ スパークス アセット マネジメント コーポレイテッド	1,495	1.11

(注)当社は、自己株式2,243.68株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

役員構成 (2008年12月19日現在)



代表取締役社長 野村 宗芳 (前列中央)

取締役会長 七村 守 (前列左)

専務取締役 佐藤 光紀 (前列右)

常務取締役 上野 勇 (後列中央)

取締役 清水 一身 (後列右)

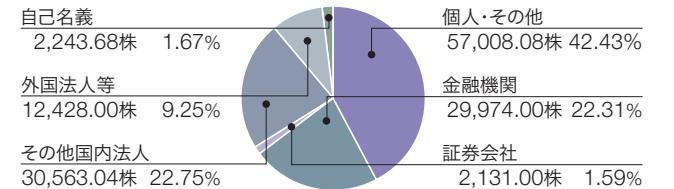
取締役 松田 忠洋 (後列左)

常勤監査役 柳 克久

監査役 廣渡 嘉秀

監査役 木村 達也

◆所有者別分布



◆所有株数別分布

